



開拓札幌 | 札幌の家の困りごと相談

FREE GUIDE

PESTS & WILDLIFE IN SAPPORO · HOKKAIDO

札幌・北海道の家に出る 虫・害獣・蜂・鳥 見分け&対処 早見表

その虫、自分で退治できます。

その動物・その巣、素人が触ると“法律違反”です。

札幌の相談窓口が、見分け方と相場を1枚にまとめました。

＼ この資料で分かる3つ ／

- 1 その相手を自分で対処してOKか／法律で手を出せない相手か、見た目・場所・音・フンで切り分け
- 2 蜂の巣は自分でやっていいのか——4つの条件と、1つでも当てはまれば業者という7つのライン
- 3 シロアリ・害獣・蜂・鳥の相場のものさしと、北海道だけの落とし穴（キツネ・シロアリ・ゴキブリ）

無料

印刷して、見分けにお使いいただけます

開拓札幌

札幌の家の困りごと相談窓口 | 札幌市全域対応

kaitaku-sapporo.com

LINEで無料相談を受付中

家に出る相手は、“4つのグループ”に分けると迷いません。まず「虫か、動物か、鳥か、蜂か」。この1段階で、やっていいこと・ダメなことがほぼ決まります。

A

自分で対処できる『虫』 殺虫剤・掃除でOK

コバエ／ヤスデ／ムカデ／カメムシ／シバンムシ／カツオブシムシ／チャタテムシ／ゴキブリなど。コツは**見えている虫を叩くより「発生源・侵入口を断つ」**。※トコジラミだけは例外で、プロ向き（P7）。

B

自分で駆除できる『動物』＝家ネズミだけ 3種のみ例外

ドブネズミ・クマネズミ・ハツカネズミは鳥獣保護管理法の“**対象外**”。粘着シートや捕獲器で駆除しても違反になりません。ただし本質は**侵入口（1～1.5cm）をふさぐ**ことです。

C

素人が手を出せない『害獣』 追い出し・封鎖まで

イタチ・ハクビシン・アライグマ・コウモリ・タヌキ・テン・**キツネ**など。**捕獲・殺傷は原則禁止**（狩猟の場合を除く）。住民は「傷つけずに追い出す」「侵入口をふさぐ」まで。※**アライグマは特定外来生物でさらに厳格**（生きたまま運ぶだけでも違反）。

D

『鳥』と『蜂』は、別のルール 鳥は法律、蜂は危険度で決まる

鳥（ハト・カラス）＝追い払いは自由。でも**卵やヒナのいる巣の撤去には、市の許可が必要**（自宅の敷地内でも無許可なら違法・P6）。**蜂**＝法律ではなく**種類・大きさ・場所**で、自分でやれるかが決まります（P4）。

代表 成田より 良かれと思った行動が違反にならないよう、ここだけは押さえてください。虫か・動物か・鳥か・蜂か。迷ったら、手を出す前にひと声ください。写真1枚から見分けをお手伝いします。

屋根裏の音・フンの正体は、**音の重さ・時間帯・フンの様子・侵入口の大きさ**でかなり絞れます。無理に天井裏へ上がらず、この表で見当を。**家ネズミ以外は捕獲・殺傷が違法**（追い出し＋封鎖まで）。

正体	音・見た目・フン	侵入口／法律
ネズミ	カサカサ軽い音。フン0.5～1cmが散らばる	1～1.5cm。家ネズミは駆除OK・封鎖が本質
コウモリ	バサバサ羽ばたき。夕方と夜明けに出入り。虫の羽混じりの崩れやすいフン	1～1.5cm。捕獲違法・追い出し＋封鎖
イタチ	タタタッと軽く速い足音。強い獣・すっぱい臭い。ためフン	約3cm（500円玉大）。捕獲違法（メスは通年）
ハクビシン	ドスドス重い音。額に白線。フンに果物の種・皮／甘い臭い	8～9cm。捕獲違法・追い出し＋封鎖
アライグマ	がっしり重い足音。しっぽに黒い横しま。太いフンに骨・殻	8～9cm。特定外来生物・運搬も違法
タヌキ／キツネ	重い足音だが“床下”が多い（木登り苦手）。キツネは春～夏に床下で営巣も	捕獲違法・追い出し＋封鎖。札幌市はキツネの駆除・捕獲をしていません

フン掃除の掟 掃除機は使わない（排気で病原体が舞う）。手袋・マスクで霧吹きで湿らせ拭き取り→消毒。子育て期（春～夏）は親だけ追い出さない。※明け方～日中の音なら、哺乳類でなく**鳥**を疑ってください（P6）。
★キツネとエキノコックス 感染するのは**虫卵を口から入れたときだけ**。キツネの感染率は年により変動するもののだいたい3割ほどで、**虫卵は洗う・加熱（60～80℃で5分／100℃で1分）に弱い**。対策は①エサを断って近づけない ②手洗い ③不安なら検査。札幌市民は各区の保健センターで無料の血液検査を受けられます。

蜂は**巣の形**で、遠くからでも見分けられます。**マーブル模様の丸いボール状＝スズメバチ（危険度高）**／**ハスの実（シャワーヘッド）状で六角形の穴がむき出し＝アシナガバチ（中）**／**板状に垂れ下がる＝ミツバチ（低）**。



自分で駆除していいのは、4条件すべてを満たすときだけ **1つでも欠けたら業者**

①アシナガバチかミツバチ ②直径5cm未満・蜂は数匹・作り始め ③手が届く、開けた低い場所 ④日没後2～3時間に作業できる。道具はピレスロイド系のハチ用スプレーを必ず2本（途中で空になると危険）、肌を1cmも出さない服装、そして**絶対に一人**でやらない。



1つでも当てはまったら、迷わず業者へ **7つのライン**

☐スズメバチ ☐2階以上・高い所 ☐屋根裏・床下・壁の中・室外機の中・土の中
☐直径5cmを大きく超える巣 ☐蜂が何十匹もいる ☐過去に刺されたことがある人・アレルギー体質の人がいる ☐逃げ道のない場所。脚立の上では、蜂から逃げられません。

蜂の種類	駆除費用の目安	ひとこと
スズメバチ	8,000～12,000円～	攻撃性が高く、専門的な装備が必要なぶん高め
アシナガバチ	3,000～10,000円	比較的小となしいぶん安め。巣は1年限り
ミツバチ	3,000～12,500円	小となしいが、巣が大きい・分蜂の対応で変動

加算されるのは5つ（巣が大きい／高い場所／閉じた場所／土の中／即日・夜間）＝1つあたり+1,000～10,000円ほど。基本料金でなく「**総額**」で比べるのが鉄則です。★**営巣カレンダー**＝5～6月に女王蜂が1匹で巣作り開始→9月ごろ巣が最大・いちばん危険→10～11月に巣は空に。★**札幌の主役はケブカ・コガタスズメバチ**（「最も危険」なオオスズメバチは市内であり見られない、と市が明記）。

駆除は「相場を知らないまま焦って契約」が一番危険。まず“ものさし”を1本。※正確な金額は現地を見た「見積り」でしか出ません。相場は入口の目安です（2026年時点。最新は各公式で要確認）。

項目	札幌・目安	ひとこと
シロアリ駆除 (30坪ほど)	総額 10～15万円 多くは20万円未満。最低施工 88,000～90,000円ほど	保証は5年が標準。「半永久」「10年」は根拠確認
シロアリ m単価	2,300～2,500円/m ² 全国相場では2,000～2,500円/m ²	「小さい家だからもっと安い」は基本ない
屋根裏の害獣駆除	5万～20万円 清掃・消毒・封鎖まで徹底は10万～50万円	「1万円～」広告は追い出しのみ・最低料金が多い
ネズミ駆除 (戸建て)	軽度2.5万～6万円 中度10万～20万円／重度20万～35万円	自分でグッズは数千円～数万円
カラスの巣撤去 (手の届く高さ・1ヶ所)	おおむね2万円台～3万円台 高所（電柱・樹木・屋根）は別途見積り	現地調査は無料～数千円程度（業者による）
ハトのベランダ防鳥ネット	おおむね数万円～ 広さ・階数で変動	いちばん確実な再発防止。撤去だけでは戻ります

点検商法・高額請求から身を守る 国民生活センターは駆除トラブルの増加を公表（2023年度は前年度の約1.5倍）。典型手口＝突然の訪問点検／不安を煽り即決を迫る／相見積りを取らせない／ネット表示と実額が違う。広告の「〇〇円～」は、いちばん条件のよいときの最低料金——比べるのは見積りの総額で。訪問販売なら契約書面の受領日を1日目として8日以内はクーリング・オフ可。困ったら消費者ホットライン「188（いやや）」。★シロアリ“いない神話”は誤解——いるのはヤマトシロアリだけで、北限は名寄まで北上し札幌も分布圏。羽アリは5月末～7月の雨上がりの午前。見分けは色でなく“体のつくり”＝触角がまっすぐ・胴にくびれなし・4枚の翅が同じ大きさ。ただし激しいイエシロアリはいないため、カンザイシロアリ向けの高額な燻蒸工事は原則不要です。

ハト（ドバト）もカラスも、**鳥獣保護管理法**で守られた野鳥です。ここを間違えると、自宅の敷地内でも違法になりかねません。「追い払い」と「捕獲・巣の撤去」は、まったく別ものだと覚えてください。

やること	法律の扱い
追い払う・寄せつけない（ネット・テグス・剣山）	問題なし。禁止されているのは「捕まえる・傷つける・卵やヒナを取る」ことだけ
鳥を捕まえる・傷つける	許可がいる（原則禁止）＝鳥獣保護管理法の「捕獲等」
空の巣（卵・ヒナがいない）を撤去する	問題になりにくい。今のうちに
卵・ヒナのいる巣を撤去する	市の許可が必要。無許可なら、たとえ自宅の敷地内でも違法

窓口（札幌市） 民有地の巣で許可が必要なとき＝環境共生担当課 011-211-2879／公園・街路樹の巣＝各区の土木センター／電柱・電線の巣＝北海道電力。待つ場合の期間＝ハトは卵が約16～18日でかえり、ヒナは約30日で巣立ち（＝ざっと1～1か月半）。カラスの威嚇は4月上旬～7月下旬で、縄張りは半径約20～100m——そこを離ればおさまります。威嚇するのは父ガラスと母ガラスの2羽だけで、集団では襲いません。

効くのは「物理でブロック」＞「嫌がらせ」

防鳥ネットで開口部を丸ごと覆う・テグスやワイヤーでとまれなくするのが本命。忌避剤やCD・目玉風船といった“嫌がらせ”は、単体では弱い補助です。巣材（枝・ハンガー）を屋外に放置しない／庭木は営巣の前に手入れ／ベランダの死角をなくす——ここまでが予防。ゴミ荒らしは「生ゴミを見せない・朝に出す・ネットをすき間なくかぶせる」の3つで大きく減り、ゴミステーションの器材には市の購入費助成制度もあります。

フンは、乾いたものを吸い込まない 乾燥したフンは掃き掃除で粉じんとして舞い上がります。手袋・マスクをして、霧吹きで湿らせてから拭き取り→消毒が基本。大量・高所なら無理をせず専門の清掃へ。

グループAの虫は、種類が分かれば市販品と掃除で対処できます。共通のコツは「叩くより発生源・侵入口を断つ」。

虫	見分け・出た場所	対処のコツ
コバエ	キッチンで赤い目＝ショウジョウバエ／風呂で毛深い＝チャウバエ／植木鉢＝キノコバエ	発生源を断てば9割。めんつゆトラップはチャウバエ・キノコバエに効かない
ヤスデ／ムカデ	1節から脚2対＝ヤスデ（毒なし）／1対＝ムカデ（平たい・速い・毒あり）	咬まれたら流水で洗い43～46℃で温める（やけど注意）。全身症状は119
カメムシ	秋に入るのは越冬型（スコットカメムシ等）	潰さない・掃除機で吸わない。臭いはサラダ油でなじませ石けん
衣類・乾物・本の虫	服に穴＝カツオブシムシ幼虫／乾麺・畳＝シバンムシ／1～2mm＝チャタテムシ	発生源を捨てるのが本命。放置するとハチ・ダニの2次被害
トコジラミ ※例外・プロ向き	5つのサイン＝黒い点々の血糞・1mmの白い卵・脱皮殻・成虫（5～8mm）・臭い	市販のスプレー1本では効きにくい（下記）

★トコジラミが「プロ向き」な理由 国民生活センターは「多くのトコジラミにはピレスロイド系の殺虫剤に対して抵抗性が報告されており、別系統の薬剤でないと効果的な防除はできない」と明記（＝スーパートコジラミ）。くん煙剤（バルサン等）は、かえって別の部屋へ広げることも。自分でできるのは、熱（50℃以上・スチーマー）・掃除機で吸う・すき間封鎖までです。

★ゴキブリ「北海道にいない」も昔の話 定着はヤマト・クロ・チャバネの3種で、主戦場は暖房の効いた室内と家電の裏。ただし20～32℃を下回る北海道では「1匹見たら100匹」は必ずしも当てはまりません。※雪虫は駆除不要（10月下旬が中心・ピークは数日～2週間・刺しません）。



「これ、自分でやっていい相手？」 迷ったら、手を出す前にひと声を。

まずは公式LINEに、気になる虫・動物・巣の“写真を1枚”（蜂や巣は必ず離れた場所から）送ってください。見分けだけでもOKです。開拓札幌は“中立の相談窓口”。一括見積もりサイトのように、申し込んだ直後から何社もの営業電話が鳴ることはありません。しつこい営業はいたしません。

 **LINEで無料相談する**

LINE : lin.ee/YpRFf1p



写真1枚から見分けを

虫・動物・巣の様子を撮って送るだけ。「自分で対処できる相手か」の見分けから一緒に確認します。



法律の段取りも整理

鳥の巣の許可、キツネの相談先、蜂の危険度。手続きを間違えないよう、順番からご案内します。



相場と手口を先にお伝え

「その見積り、相場から外れていないか」を中立にチェック。点検商法や高額請求の危険信号もお伝えします。



★ ご希望に合う1~2社だけ

項目ごとの見積りで追加請求をせず、その場で契約を迫らない業者を厳選。探し直しも代行します。